



海上自衛隊

Japan Maritime Self Defense Force



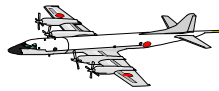
— 我が国の特性を踏まえ周辺海域を守る —

海上自衛隊では自衛官以外も勤務しています！

海上自衛隊では、約3,000人の防衛事務官や防衛技官等が事務や技術の業務に従事しています。そのうち約900名は女性であり、ワークライフバランス（仕事と生活の調和）制度も充実しています。

事務官等の役割について

艦艇や航空機を運用し、有効に任務ができるよう、各種事務あるいは技術分野で後方支援分野に従事し、海上自衛隊の任務遂行に貢献しています。



自衛官：艦艇・航空機等の装備を運用

防衛事務官

総務 人事 厚生 経理 補給 賠償 法務

若年時は複数の業種を経験し、その後は各業種に別れて業務を行います。

防衛技官

艦船 武器 艦船 航空 施設

1つの業種で勤務を続け、その道のプロとなるべく勤務します。

事務官等の新領域業務

上図の業務以外にも新領域と呼ばれる「宇宙分野」「サイバー分野」「電磁波分野」の3つの分野で事務官及び技官の活躍の場が広がっています。

事務官等の業務

海上自衛隊公式YOUTUBEチャンネル上に、職員のインタビューを交えた業務紹介の動画を公開しています。「海自 事務官等」と検索もしくは右側QRコードから是非ご覧ください。



採用実績及び予定

	令和4年度※	令和5年度※※
大卒(行政)	6名(2名)	6名
大卒(技術)	1名(1名)	5名
高卒(事務)	3名(1名)	3名
高卒(技術)	3名(0名)	3名

※令和4年度の()内の数字は採用者数の内の女性の人数です。
 ※※令和5年度については採用を予定していた人数です。

●採用後の処遇

他省庁の職員と同様の勤務形態、給与等です。自衛官が行う戦闘訓練等はありません。

●勤務地・転勤

採用は九州地区所在部隊です。基本的には希望する各ブロック単位での人事管理となり、九州管内での異動のほか、本人の希望や組織のニーズにより全国各地で勤務することも可能です。また、省内他機関への異動や、本省で勤務する機会もあります。(大卒程度技術系は全国採用になります。)

●勤務環境

海上自衛隊の事務官等は、自衛官と一緒に勤務することがほとんどです。そのため、上司や部下が自衛官ということもあります。なお、デスクワークがほとんどで艦艇等で勤務することはありません。

先輩の声(事務官)



令和5年入省 一般職(大卒) 行政
鹿屋航空基地隊本部総務班

鹿屋航空基地隊で自衛官の人事業務を担当しています。自衛官も事務官も気さくで優しい方が多く、働きやすい職場です。研修では全国の同期と知り合うことができ、研修後も心強い存在となります。皆さんも海上自衛隊と一緒に働きませんか。

先輩の声(技官)



令和5年入省 一般職(大卒) 技術
(デジタル・電気・電子)
佐世保造修補給所武器部 通信電子科

私は、護衛艦等に搭載されている通信機器の検査や修理に関する役務の発注や監督業務を行い、10隻以上の護衛艦等を担当しています。国防に必要な不可欠な装備品の故障等が発生すると護衛艦等の任務影響がでることから、その対応には非常にやりがいを感じています。

自衛官も技官も分け隔てなく楽しい職場ですので、一緒に働いてみませんか。

《問い合わせ先》 佐世保地方総監部 管理部 人事課 職員人事管理室
 〒857-8567 長崎県佐世保市平瀬町18番地 TEL(0956)23-7111 内3591
 佐世保地方隊ホームページ <https://www.mod.go.jp/msdf/sasebo/>

お気軽にお問い合わせ下さい

